

**公立大学法人会津大学の第3期中期目標期間終了時
に見込まれる業務の実績に関する評価結果**

令和4年9月

福島県公立大学法人評価委員会

公立大学法人会津大学の第3期中期目標期間終了時に見込まれる 業務の実績に関する評価結果

第1 「全体評価」

公立大学法人会津大学（以下「法人」という。）における第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績について、法人による自己評価は次のとおりである。

全項目（171項目）

「A：中期計画を上回って実施している」 50項目（29.2%）

「B：中期計画を予定どおりに実施している」 119項目（69.6%）

「C：中期計画を下回って実施している」 2項目（1.2%）

「D：中期計画を大幅に下回って実施している」 0項目（0%）

法人は、教育、研究、国際化、地域貢献及び復興支援等に積極的に取り組み、第3期中期目標の達成に向けて着実に業務を実施している。また、第3期中期目標で示す基本目標に向かって、より良い大学となるための努力も続けている。

特に、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興に寄与するため、コンピュータ理工学、産業情報学、食物栄養学及び幼児教育学の専門性を生かした人材育成や共同研究、産業・文化の振興等に取り組んでいることは高く評価できる。

第3期中期目標期間（4年目終了時評価）及びこれまでの業務実績（項目別評価）は、以下のとおりである。

	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	見込 評価	実績 評価
教育研究等の質の向上	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ			Ⅱ	
教育	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ			Ⅱ	
研究	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			Ⅰ	
国際化	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			Ⅰ	
地域貢献・東日本大震災等の復興支援	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			Ⅰ	
地域社会との連携・協力	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			Ⅰ	
地域産業の振興	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ			Ⅰ	
復興支援	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ			Ⅰ	
管理運営の改善及び効率化	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ			Ⅱ	
業務運営の改善、効率化	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ			Ⅱ	
財務内容の改善	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ			Ⅱ	
自己点検・評価等	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ			Ⅱ	
その他業務運営	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ			Ⅱ	

1 会津大学

会津大学（以下「四大」という。）は、コンピュータ理工学の分野において国内外で活躍できる優秀な研究者及び技術者の育成はもとより、起業家精神を持つ人材の育成にも努めている。さらに、留学生の受入れや文部科学省スーパーグロー

バル大学創成支援事業等による国際化にも積極的に取り組んでいる。

また、福島ロボットテストフィールドを拠点に実施している浜通り地域におけるロボット産業への産学官連携、県立医科大学との連携による県民健康調査への協力、先端ICT技術に携わる人材育成事業、大学発ベンチャー企業の創出等、新たな産業の創出及び雇用の拡大のために積極的に取り組んでおり、本県の復興と地方創生に貢献していることについて高く評価できる。

イギリスの教育専門誌 Times Higher Education による「THE 世界大学ランキング」にランクインし続けており、世界的にも評価を受けている。

なお、平成29年度に受審した公益財団法人大学基準協会の認証評価において指摘された「学部の1年間で履修登録できる単位数の上限が高いこと」、「学部や大学院の課程ごとに入学受入方針（アドミッション・ポリシー）や、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）が区別されていないこと」、「博士後期課程においてリサーチワークとコースワークを適切に組み合わせていないこと」、「博士前期課程において研究指導計画の学生への明示が不十分であること」については、すでに対応している。

2 会津大学短期大学部

会津大学短期大学部（以下「短大」という。）では、経営、デザイン、情報、栄養、食品、健康、福祉、保育、幼児教育等の専門分野の知識や技術を身につけ地域貢献ができる職業人の育成に取り組み、高い就職率を維持している。

また、優秀な学生の確保に向けた新たな入試制度の導入、産学官民との協働・連携、学生参画型実学・実践教育、派遣講座・公開講座、復興支援のための活動、学生へのきめ細やかな生活相談等に積極的に取り組んでおり、高く評価できる。

なお、平成29年度に受審した公益財団法人大学基準協会の認証評価において指摘された「学位授与方針について学科ごとに策定されていない点及び課程修了にあたって修得することが求められる知識・能力等の学習成果を示していない点」、「学生寮（一箕寮）の老朽化による入居学生の居住環境の悪化」、「附属図書館の狭隘」の課題はすでに対応している。

第2 「項目別評価」

1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

(1) 教育に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

〔特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△〕

(四大)

- ① ◎ 学内全体で英語教育の充実に取り組んでおり、TOEIC®400点（2022年度入学生からは450点以上）を学部3年次への進級要件の一つにしていることは評価できる。特に、学部における英語による授業科目割合を増加させ、目標50%を達成したことは高く評価できる。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
英語による学部 授業科目割合	29.9%	72.2%	66.7%	61.8%
2 年次終了時 TOEIC®400 点達成割合	—	94.8%	87.7%	84.7%

- ② ○ 成績不振学生の発生を抑えるため、全学生に担当教員を配置する制度を設けるとともに、単位数不足者には注意喚起を行った。また、平成30年度入学生から留年制度を導入し、成績不振学生の早期把握に努め、成績不振学生には本人及び保護者との面接を行う等、きめ細かい支援を実施した。さらに、修学支援充実のため、専門知識を有する修学支援員及び優秀な学生を雇用するとともに、新型コロナウイルス感染症対策として遠隔対応（質問受付ウェブの開設、メール等による対応）を導入している点は評価できる。

	R 元年度	R2 年度	R3 年度
留年新規判定人数	28 人	26 人	42 人

- ③ △ 入学者に対する女子学生の割合を目標である12%にするため、卒業後の多様な働き方を取り上げたパンフレットの作成、女子高校への訪問を行う等、広報活動に努めている。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
入学者に対する 女子学生の割合	12.3%	9.9%	9.4%	10.2%

- ④ △ 大学院博士前期課程の定員充足率80%という目標達成に向け、大学院進学フェアやオープンキャンパスの開催、学内進学率向上に向けた広報活動、オナーズプログラム（学部・修士一貫型）による5年間で修士号を取得できる制度運用等に取り組んでいる。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
大学院博士前期 課程定員充足率	63.3%	67.5%	57.5%	65.8%

- ⑤ △ 四大教員を国際公募により採用し、外国人等専任教員の割合が目標の60.7%に対し58.3%となっている。また、女性教員採用に努めているものの、女性教員の割合が目標の10%に対し8.3%となっていることから、中期計画を達成するための取組みに期待する。

(短大)

- ① ○ 各学科において資格取得に向けた支援を行い、資格取得希望者の取得率について、目標である100%をおおむね達成している。

産業情報学科	色彩検定、2級建築士受験資格
食物栄養学科	栄養士免許資格、フードスペシャリスト資格認定試験受験資格、NR・サプリメントアドバイザー認定試験受験資格
幼児教育学科	幼稚園教諭二種免許、保育士資格

- ② ○ 免許資格関連職への就職率について、おおむね目標を達成している。
- ③ ○ 国の保育士養成課程の見直しに伴い、幼児教育学科の学科課程表や授業科目を見直し、県より指定保育士養成施設の変更承認を受けた。
- ④ ○ 教職員による学生相談、メンタルヘルス支援に努め、きめ細かい学生支援を行っている。
- ⑤ ○ 学生寮（一箕寮）の生活環境改善に努め、厨房・食堂の改修工事、電気容量アップ工事、食堂空調機・冷蔵庫・洗面台の入替え、各室のLED照明更新等を実施した。また、ブロック塀からフェンスへの更新工事を実施した。

(共通)

- ① ○ コロナ禍においても、オンラインでの広報活動等を通じ、大学が求める入学者の確保に努め、一般入試の志願倍率の目標を達成している。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
四大 目標 5.0 倍	5.8 倍	6.3 倍	5.6 倍	5.2 倍
短大 目標 2.0 倍	3.1 倍	3.1 倍	2.4 倍	2.7 倍

- ② ○ キャリア教育、進路希望の把握、学生との個別面談等、きめ細やかな支援に努めたことにより、高い就職率を維持している。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
四大 (院)	100%	98.1%	97.4%	100%
四大 (学部)	98.6%	98.1%	97.4%	99.2%
短大	97.8%	97.7%	98.5%	98.3%

- ③ ◎ 学生支援として、授業料減免制度の継続実施の他、会津大学学生生活支援基金の活用による給付金支給に加え、学内で使用できるプリペイドカードの支給や、メンタルヘルス支援等を行った。特に、令和元年4月から「会津大学学生生活支援基金」を設置し、寄附金の募集を開始した。これにより、修学が困難な学生に対する経済的支援を大学が積極的に行えるようにしたことは高く評価できる。

(2) 研究に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

[特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

(四大)

- ① ◎ 四大では、先駆的な研究の推進や社会ニーズに応えるため、研究クラスター（研究テーマに応じて組織的なチームで研究を行う取組）を進めるとともに、先端情報科学研究センターに所属するクラスターに加え、萌芽、戦略系研究チームである基礎クラスターを新たに設置するなど、相乗効果により研究が促進される環境を整備した。
- ② ◎ 主要学術論文採択数は下記のとおり目標値300件をおおむね達成し

ている。また、学術論文被引用件数や特許出願件数は目標を大きく上回る実績となっている。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
主要学術論文採択数	282 件	313 件	303 件	303 件

- ③ ○ 平成 31 年に宇宙情報科学研究センターが文部科学省の「共同利用・共同研究拠点（月惑星探査アーカイブサイエンス拠点）」の認定を受け、全国の研究者と共同研究を実施している。

(短大)

- ① ○ 産官民との連携、学生参画型実学・実践教育を通じた地域課題解決等により、研究成果を地域社会へ還元した。
- ② ○ 公表された研究活動数は下記のとおりで、新型コロナウイルス感染症の影響により人的交流が制限された時期を除けば、目標である 100 件を達成している。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
公表された研究活動数	125 件	107 件	89 件	73 件

(共通)

- ① ◎ 外部資金獲得のため学内連携に努め、公募型研究費獲得件数の目標 50 件、外部資金獲得額の目標 1.5 億円を上回って達成した。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
公募型研究費獲得件数	79 件	77 件	96 件	94 件
外部資金獲得額	1 億 6634 万円	3 億 6794 万円	3 億 9533 万円	3 億 4312 万円

(3) 国際化に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

[特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

(四大)

- ① ◎ 新型コロナウイルス感染症の影響もあるなかで、デュアルディグリープログラム（会津大学と海外協定校の両方の修士課程で 1 年ずつ学び、修了時に 2 つの修士号を取得するプログラム）や、グローバル 3 + 2 プログラム（海外の協定大学の学部を 3 年で履修したのち、会津大学の修士課程に進学し、2 年間で修士号を取得するプログラム）等を通して、優秀な外国人留学生の獲得に努めたことにより、外国人留学生の割合が目標である 6.3 % を大幅に上回っている。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
外国人留学生の割合	9.1%	9.5%	11.9%	11.7%

- ② ○ 英語のみで入学から学部卒業まで可能となる「ICTグローバルプログラム全英語コース(以下「ICTGコース」という。)」の広報に努め、在籍人数が増えている。また、文部科学省のスーパーグローバル創成支援事業の認定を受け、事業の自走化にも取り組んでいる。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
ICTGコース在籍人数	32名	41名	69名	76人
うち日本人	0人	9人	28人	32人

- ③ ○ 新型コロナウイルス感染症による影響を受けつつも、地域自治体や会津大学外国人留学生後援会等と連携し、交流イベントを実施する等、地域の国際化に貢献している。

2 地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

(1) 地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

[特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

(四大)

- ① ◎ 市町村や民間企業と連携協定を結び、助言活動等を通じて県内のDX化の推進に取り組んだ。
- ② ◎ 県立医科大学や民間企業等との共同研究等に取り組んだ。
- ③ ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止にせざるをえなかった年度はあるものの、会津若松市を始めとする関係団体等と連携し、県内外の中高生が参加する「コンピュータサイエンスサマーキャンプ会津大学」の開催を支援し、会津の魅力発信に努めている。
- ④ ○ 全国高等学校パソコンコンクール(パソコン甲子園)では、人材育成の長年の功績が評価され、日本工学教育協会の第23回工学教育賞における文部科学大臣賞を受賞した。コロナ禍において、オンラインで実施することにより、大会を継続開催していることは評価できる。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
参加人数	1,906人	1,850人	1,555人	1,716人

(短大)

- ① ◎ 地域との連携・協働事業について、地方自治体等からの委託事業を積極的に受け入れ、目標である20件を達成した。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
地域との連携・協働事業数	16件	21件	27件	27件

(共通)

- ① ③ 新型コロナウイルス感染症を踏まえオンライン開催に切替える等して、公開講座及び教員派遣講座を積極的に開催し、法人が持つ知的資源を地域社会へ還元した。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
公開講座	15 件	19 件	14 件	19 件
教員派遣講座	212 件	253 件	165 件	194 件

(2) 地域産業の振興に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

- ① ③ 県内外の企業等からの技術相談等を行う「会津オープンイノベーション会議（通称AOI会議）」を実施し、それをきっかけに共同研究まで発展させる等、産業振興に貢献した。また、会津若松市のスーパーシティー構想への支援をはじめ、市町村や民間企業等との連携が評価され、経済産業省の「地域オープンイノベーション拠点（地域貢献型）」に選ばれた。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
AOI 会議開催件数	373 件	340 件	316 件	311 件

- ② ③ 大学発ベンチャー企業として10社を認定し、総数29社となり、目標である総数30社を達成できる見込みである。また、大学発ベンチャー企業への支援及び連携した研究活動も実施している。

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
認定企業数	3 社	2 社	2 社	3 社

(3) 復興支援に関する目標を達成するための措置

【評価】「I：中期計画を十分に実施できている」と認められる。

【特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△】

(四大)

- ① ③ 「会津大学ロボットテストフィールド研究センター」（南相馬市の福島ロボットテストフィールド内、令和元年9月開所）を中心として、ロボットや先端ICT技術の実証・開発、地元製造業との連携、南相馬市内の高校生等を対象としたロボット関連技術講習会を開催する等、産学官連携や人材育成を通じて、福島イノベーション・コースト構想実現に貢献している。
- ② ③ コロナ禍における県内中小企業支援のためにサイバーセキュリティ研修を実施したことは評価できる。

- ③ ◎ 「女性のためのITキャリアアップ塾」事業を実施し、県内企業等に就職を希望する女性に対してプログラミング等を学習する機会を提供するとともに就労支援を行い、第3期中期目標期間中に累計250名以上の就労に貢献した。この取組は、日本工学教育協会の第25回工学教育賞を受賞した。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
就労者数	56人	108人	42人	48人

- ④ ○ 福島県警察本部のサイバー犯罪対策アドバイザーとして助言を行う等、サイバー犯罪防止に協力した。

(短大)

- ① ○ 大熊町立小・中学校からの要望に応じて講師を派遣するとともに、学校行事等のため施設を開放する等、大熊町の将来を担う人材の育成を支援した。
- ② ○ 被災市町村及び帰還住民を対象とした復興支援に関する協働・連携事業を実施し、目標である年間5件を達成している。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
復興支援に関する協働・連携事業	5件	12件	5件	7件

3 管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置
【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

- (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。
 [特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]
 (共通)

- ① ◎ 会議資料の事前配布による説明時間の短縮、iPadを使用してのペーパーレス会議による印刷事務の削減、庶務関係の電子申請システムの導入準備等により、事務の効率化に努めた。また、コピー用紙購入量の削減について、目標である5%減を達成できる見込みである。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
コピー用紙 購入量	317万枚 (0%増)	336万枚 (6%増)	272万枚 (14%減)	254万枚 (19%減)

- ② ○ 公募により職員を採用し、法人職員割合45%という計画を達成した。

- (2) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。
 [特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

- ① ○ シーズ集を発行するとともに、技術展示会への参加等により、知的財

産の情報発信に努めた。また、技術移転機関（TLO）との連携により、令和2年度には実施許諾契約を1件締結した。

- ② ○ 会津大学学生生活支援寄附金を活用し、学生への経済的支援を実施した。また、会津若松市や民間企業等から奨学寄附金を受け入れ、教員の研究を支援した。
- ③ ○ 財務会計システムを更新し、自席端末での利用を可能にする等、利便性の向上や経費節減に努めた。また、会計規程や事務処理フローの見直し等、運用面での効率化も推進した。

(3) 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

[特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

(共通)

- ① ○ 法人の認知度向上のため、はやぶさ2プロジェクトへの参加、野生動物検出システム等の研究成果、表彰実績、産学連携、地域貢献等について積極的に情報発信した。

(4) その他業務運営に関する目標を達成するための措置

【評価】「Ⅱ：中期計画をおおむね実施できている」と認められる。

[特に評価できる取組◎、評価できる取組○、検討課題等△]

- ① ◎ 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、遠隔授業の実施、電子ブックの整備、パーテーションの設置、短大トイレ改修工事等を実施した。
- ② ○ コンプライアンスの徹底を図るため、研究論文剽窃チェックツールの導入、各種研修の開催等を実施した。特に、e-learningによるコンプライアンス研修については、対象者を研究者だけでなく修士課程学生まで拡大した。
- ③ ○ 短大において、図書室の改修、図書の除籍、利活用促進のためのイベント等を実施したことにより、令和3年度の入館者数が22,970名となり、過去10年間で最多となった。
- ④ △ 四大では、学生・教職員の健康診断受診率向上のため、実施日の追加、健康調査のオンライン化、メールによる実施日時の周知等、受診しやすい環境整備に努めた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、四大学生の受診率が90%を下回っていることは今後の課題である。

受診率		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
学生	四大	88.3%	90.7%	77.2%	83.3%
	短大	97.8%	98.4%	98.0%	97.3%
教職員	四大	94.0%	92.5%	94.9%	94.2%
	短大	100%	100%	100%	100%

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		中期計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	30	B	73	C	2	D	0	II	
		A	20	B	49	C	2	D	0		
		(会津大学) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。									
		A	7	B	20	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。									
		A	3	B	4	C	0	D	0		
		(四大・短大共通) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。									
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	16	B	63	C	2	D	0	II	
		A	8	B	43	C	2	D	0		
		(会津大学) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。									
		A	7	B	18	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。									
		A	1	B	2	C	0	D	0		
		(四大・短大共通) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。									
(1)	入学者受入方針及び入試制度に関する目標を達成するための措置	A	6	B	12	C	2	D	0	II	【会津大学】 一般選抜の志願倍率は、目標の5.0倍を越えている。 【会津大学短期大学部】 幼児教育学科では、社会福祉についても学べることについて、入学者受入方針の変更を行った。
		A	2	B	10	C	2	D	0		
		(会津大学) 大学が求める入学者確保のため、高校訪問の他にオンラインによる進学相談等も行い、目標とする入試志願倍率は達成する見込みであり、全体としては計画どおり達成できる見込みである。女子学生の割合等、一部の目標については社会的要因もあり目標達成は難しいと見込まれる。									
		A	4	B	2	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 入学者確保のため、高校訪問、進学説明会、メディアを用いた広報活動を継続しており、志願倍率2.0倍以上を維持するなど、全体としては計画どおり達成できる見込みである。									
(2)	教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	A	3	B	31	C	0	D	0	II	【会津大学】 留年制度を導入し、教員や修士支援室が連携し、学生へ早期支援している。 【会津大学短期大学部】 免許・資格取得率向上のため、外部講師の招聘等に取り組んでいる。
		A	3	B	22	C	0	D	0		
		(会津大学) 引き続き、大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証や、シラバスの英語化などに取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。									
		A	0	B	9	C	0	D	0		
		(会津大学短期大学部) 引き続き、大学が育成を目指す人物像を理解してもらうため、学位授与方針、教育課程・実施方針の周知・検証などに取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。									

(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	2	B	9	C	0	D	0	I	【会津大学】 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、遠隔授業を行えるように迅速に整備した。 【会津大学短期大学部】 新型コロナウイルス感染症対策としてトイレ改修工事(洋式化)等を実施した。		
		A	0	B	5	C	0	D	0				
		(会津大学) 引き続き、施設や機器の環境整備、教員研修、教員の国際公募による採用に取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
		A	1	B	2	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部) 引き続き、ネットワークシステムや実習機器の更新整備に取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
		A	1	B	2	C	0	D	0				
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	5	B	11	C	0	D	0	I	【四大・短大共通】 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、国の支援に応じた給付金支給や外部からの寄附食料の速やかな配布、オンラインへの対応等、学生支援に努めた。		
		A	3	B	6	C	0	D	0				
		(会津大学) 引き続き、学生支援に関する方針の検討、全学生への担当教員の配置、就職支援等に取り組むことにより、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
		A	2	B	5	C	0	D	0				
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	9	B	10	C	0	D	0	I			
		A	7	B	6	C	0	D	0				
		(会津大学) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
		A	0	B	2	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
		A	2	B	2	C	0	D	0				
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	8	B	8	C	0	D	0	I	【会津大学】 研究力強化のため、講座制を廃止し、クラスターモデルを採用した。また、学術論文被引用件数や特許出願件数は目標を大きく上回っている。 【会津大学短期大学部】 科学研究費を毎年十数件獲得している。		
		A	7	B	6	C	0	D	0				
		(会津大学) 引き続き、研究科、学部各部門、各センターや学内横断的な研究に取り組むことで、計画どおり達成できる見込みである。											
		A	0	B	2	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部) 引き続き、基礎的研究、応用的研究、地域実践研究を行い、その成果の公表に取り組むことで、計画どおり達成できる見込みである。											
		A	1	B	0	C	0	D	0				
(四大・短大共通) 引き続き、公募型研究費等に取り組むことで、計画どおり達成できる見込みである。													

(2)	研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	1	B	2	C	0	D	0	II	情報通信環境の整備を実施しており、研究実施体制の拡充に努めている。	
		(四大・短大共通) 引き続き、研究に必要な施設・設備の適切な維持管理、学内研究費の効果的な見直し、研究費適正執行等に取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
3	国際化に関する目標を達成するための措置	A	5	B	0	C	0	D	0	I		
		(会津大学) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
第2	地域貢献・東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	14	B	13	C	0	D	0	I		
		A	10	B	11	C	0	D	0			
		(会津大学) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
		A	4	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
		A	0	B	1	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。												
1	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	A	7	B	8	C	0	D	0	I		
		A	4	B	7	C	0	D	0			
		(会津大学) 公開講座、先端ICT人材育成、協定締結自治体や県立医科大学との連携した取組、ロボット事業等を継続することで、計画どおり達成できる見込みである。										
		A	3	B	0	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 一般市民向けの公開講座、地域活性化センターを中心とした地域との協働・連携などの取組等を継続することで、計画どおり達成できる見込みである。										
		A	0	B	1	C	0	D	0			
(四大・短大共通) 新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、積極的に施設等の外部貸出に取り組むことで、計画どおり達成できる見込みである。												
2	地域産業の振興に関する目標を達成するための措置	A	3	B	1	C	0	D	0	I		
		(会津大学) 「女性のためのITキャリアアップ塾」の運営を通じた県内就労支援、大学発ベンチャー認定企業への支援などに引き続き取り組むことで、計画どおり達成できる見込みである。										
3	復興支援に関する目標を達成するための措置	A	4	B	4	C	0	D	0	I		
		A	3	B	3	C	0	D	0			
		(会津大学) AOI会議の積極的な開催、県立医大や県警本部と連携した取組、ロボット人材育成などの取組等を継続することで、計画どおり達成できる見込みである。										
		A	1	B	1	C	0	D	0			
(会津大学短期大学部) 大熊町立小中学校への支援、地域との協働連携の取組等を継続することで、計画どおり達成できる見込みである。												

第3	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	6	B	33	C	0	D	0	II			
		A	0	B	5	C	0	D	0				
		(会津大学) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
		A	1	B	3	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
		A	5	B	25	C	0	D	0				
1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	(四大・短大共通) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
		A	2	B	8	C	0	D	0				
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	A	1	B	7	C	0	D	0	II	県派遣職員から法人職員への切替を計画的に実施し、法人職員の割合を45%にした。		
		(四大・短大共通) 引き続き、教職員の行動規範の周知徹底、職員採用方針による採用活動、職員研修等に取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
(2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	1	B	1	C	0	D	0	I	コピー用紙購入量を、第2期中期計画期間の平均枚数から約20%削減している。		
		(四大・短大共通) 引き続き、ペーパーレス会議やコピー用紙購入量の削減に取り組み、さらにワークフローシステムを導入するなど、計画どおり達成できる見込みである。											
2	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	A	1	B	6	C	0	D	0	II			
		A	0	B	1	C	0	D	0				
		(会津大学) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
		A	0	B	1	C	0	D	0				
		(会津大学短期大学部) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。											
A	1	B	4	C	0	D	0						
(四大・短大共通) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。													

(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	1	B	3	C	0	D	0	I	【四大・短大共通】 「会津大学学生生活支援基金」を設置し、寄附金の募集を開始した。また、この基金を活用し、コロナ禍における学生支援のため、現金やプリペイドカードの支給等を実施している。	
		A	0	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学) 引き続き講堂・講義室・UBIC・先端ICTラボの施設を積極的に出しますことにより、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
		A	0	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 寄附金確保のための取組等に継続して取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
(2)	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	A	1	B	1	C	0	D	0	II	各種端末配置の最適化に努め、効率化及び経費削減に努めている。	
		(四大・短大共通) 保有する技術の発信のためのシーズ集作成や学生支援のための寄付金受入に継続して取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
3	自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II		
		(四大・短大共通) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
(1)	評価の充実に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	論文データを定期的に蓄積・分析し、教員の論文発表状況を可視化した。	
		(四大・短大共通) 法人の自己点検評価等の取組や事務職員の人事評価の継続した運用、教員業績評価の見直しを進めることにより、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
(2)	情報発信の推進に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	教育・研究成果、学生の受賞状況、産学連携、地域貢献等について、積極的に情報発信した。	
		(四大・短大共通) 引き続き適切な情報公開に努め、大学の活動を積極的に発信することにより、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
4	その他業務運営に関する目標を達成するための措置	A	3	B	12	C	0	D	0	II		
		A	0	B	4	C	0	D	0			
		(会津大学) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
		A	1	B	2	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
A	2	B	6	C	0	D	0	(四大・短大共通) 全体的に中期計画どおりに取り組み、概ね計画どおり達成できる見込みである。				

(1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	A	1	B	1	C	0	D	0	II	法令遵守やハラスメント防止について、継続して取り組む必要がある。	
		(四大・短大共通) 引き続き法令順守等に関する研修を開催し、教職員の理解の向上を図ること等により、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
(2)	施設設備や情報通信基盤の整備活用等に関する目標を達成するための措置	A	2	B	4	C	0	D	0	I	【会津大学】 学務システムや図書管理システム等を更新し、情報通信環境の整備に努めている。 【会津大学短期大学部】 短大学生寮(一箕寮)において、補修・更新を実施し、生活環境の整備に努めている。	
		A	0	B	2	C	0	D	0			
		(会津大学) 引き続きセキュリティ対策や付属図書館の利用環境整備に取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
		A	1	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 引き続きセキュリティ・インシデントの注意喚起や図書館の狭隘化対策に取り組むことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
		(四大・短大共通) 引き続き施設修繕計画に基づいた施設整備を進めることにより、計画どおり達成できる見込みである。										
(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	7	C	0	D	0	II	【会津大学】 学生の健康診断受診率向上に努め、90.7%まで増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、77.2%まで低下した。 【会津大学短期大学部】 学生の健康診断について、全項目未受診者0名を継続している。	
		A	0	B	2	C	0	D	0			
		(会津大学) 引き続き、教職員及び学生の健康診断受診の呼びかけ等を行い、未受信者の減少に努めることで、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
		A	0	B	1	C	0	D	0			
		(会津大学短期大学部) 引き続き、教職員及び学生の健康診断受診の呼びかけ等を行い、未受信者の減少に努めることで、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
		(四大・短大共通) 引き続き、メンタルヘルスチェックや巡回・点検を行うことで、概ね計画どおり達成できる見込みである。										
(4)	新型コロナウイルスを始めとする重大なリスクに対する措置	A	0	B	0	C	0	D	0			
		(四大・短大共通) すでに新型コロナウイルス感染症に関する情報収集や、必要に応じた適切な対策を講じており、計画どおり達成できる見込みである。										

総計	A	50	B	119	C	2	D	0
四大	A	30	B	65	C	2	D	0
短大	A	12	B	24	C	0	D	0
共通	A	8	B	30	C	0	D	0